

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 1年 9月 20日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490201195		
法人名	株式会社 ニックス		
事業所名	グループホーム 桃太郎		
所在地	広島市西区小河内町一丁目8番1号		
自己評価作成日	令和1年8月19日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490201195-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490201195-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和1年9月11日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

ご利用者様には家庭的で落ち着いた雰囲気の中で過ごしていただき、認知症状の進行を穏やかにし「心の癒し」「さりげない日々の生活の実現」「権利と尊厳の確保」をお一人お一人に実現していただけるよう、常に家族の気持ちで介護する精神を誇りにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

○開設して一年半、利用者のさりげない日々の生活実現のため、いま何が出来るかをチームで考え、法人理念のもとに、より質の高いケアを目指している。○明るく思いやりのある職員の声やさりげなく配置されたベンチや観葉植物など、ほっとする空間創りに努めている。毎日のニックス体操、回想法として昭和の絵を用いたミッケルアート、「桃太郎」の名称に調和した歌謡、心の癒される掲示物など、穏やかで、時に活気のある雰囲気を醸している。○地域との交流は自然な触れ合いで深まっており、良い関係性を保っている。○隣接して同法人の保育園が併設され、職員の子女の保育に、職員の声が法人トップに直ぐに届く「よろず相談」のメールシステムの設定で、現場の声が運営にすぐに活き、職員のストレスケアの軽減にも配慮した「働きやすい職場づくり」が、いまの時流に沿って人材確保に大きな成果を上げている。

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	地域資源の十分な活用が、やや不十分な面もあるが、実践に向けてそれぞれが目的を持つように努力はしている。	「ひとり一人に何が必要で、どうすればより良いケアに繋がるのか…」など、職員の意識を高め、今年7月の全体会議で事業所理念の見直しを行っている。職員の気持ちが込められた新たな理念は見えやすい事務所に掲示し、定期的に達成状況などの評価を行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地元住民やボランティア、町内会の催し物等への更なる参加が課題である。	町内会に加入し、回覧板・近隣からの行事の誘い・運営推進会議などで地域の情報を得て、利用者と一緒に、可能な限り参加している。亥の子祭りでは町内から要請を受け前日と当日に手伝いをした。道路に面した洗濯干しの時には、行き交う近隣の方との挨拶を行っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	家族会や行事等を通じて、利用者様家族同士の交流を図りつつ、レスパイトケアの実践に努めている。今後の目標として、認知症の地域の相談の窓口を担えるよう模索していく必要がある。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議での意見を職員間で共有し、今後の更なるサービス向上に努めている。	構成メンバーが参加しやすい日程を調整し2か月毎に開催している。利用者・行事の様子・管理者の思いなどを伝え事業所への理解が順調に深まっている。家族との協力体制も構築され、質問や意見も出やすくなっており、ボランティアをより受け入れやすい体制になった改善事例もある。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議の中で状況を報告しながら、問題があれば相談をしながら解決に向けている。	包括支援センターから地域交流を広げる助言を得たり、関係市町とは介護現場で活用できるケアサービスなどの相談を行い、円滑な関係性を築いている。市町主催の研修会や会議にも出席している。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をする事によって、高齢者が身体的、精神的にどのような弊害があるのを理解した上で身体拘束を行わないケアを実践している。	公道に面した玄関は安全の為、施錠されているが、職員は利用者が望む行動を抑制する事なく、どのような視点でケアをするか等、研修や日頃から話し合いを行っている。ヒヤリハットについては、会議においてみんなの意見を出し合い、より良い実践に取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	高齢者虐待に関する様々な研修を通して、職員一人一人が不適切なケアを行わないように日々努めている。事業所内での勉強会や外部での研修への参加に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者様の生活の質の向上を目指し、研修等を通じて、権利擁護についての知識と理解を深める努力をしている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約の際は等々、十分な説明を行っており、途中で疑問に思われた事や意見等の関して誠意を持って対応している。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様や家族からのご意見は、カンファレンスを通じて職員間で共有、議論し可能な限り要望に応じられるよう努めている。	家族会・運営推進会議等が出た質問や意見要望を具体化しイベント時の協力やボランティアの受け入れ体制の改善事例がある。面会時に得た要望も職員で共有し、今後は、従前から法人トップの意向で設置されている「意見箱」の活用に関して説明を行い、家族の理解を得る予定である。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月の全体カンファレンスや各ユニットでのカンファレンスにて、意見を吸い上げ解決や実行に向けての話し合いを行っている。</p>	<p>玄関の「職員BOX」は、法人トップに直結の「よろず相談」として、職員の要望・意見が発せられる仕組みで、ストレスの軽減や風通しの良い社風に繋げている。各階の管理者を中心に、食の満足・通院同行・入浴表など、全職員で話し合い、改善と実践に結びつけている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>意見や思いを言いやすい環境に努め、問題が起きた場合等、早急に対応するようにしており、直接社長へ思いがいくよう、BOXが用意されており、職員のプライバシーの配慮も行なっている。</p>	/	
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>それぞれの能力に合わせた研修への参加や事業所での勉強会を行っている。</p>	/	
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>現在、外部の同業者との交流は行っていないが、法人内の事業所間で情報共有やサービスに関する意見交換などを行っている。</p>	/	/
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>積極的に言葉掛けをし、一日も早くホームでの生活に慣れて頂けるよう、他の利用者様達と共同での手伝いや軽作業、レクリエーションを実施している。</p>	/	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくり努めている。</p>	<p>家族様のニーズと本人様のニーズをしっかりと聞きし、それに向けて職員間でも問題点等を情報共有しながら、ケアを行っている。小さな事でも耳を傾ける努力をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>事前のアセスメントを基に、本人様の行動を見ながら、必要に応じた対応を行なっている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>自立支援という介護の基本を念頭に、利用者様が出来る事は可能な限り、自身でやって頂きながら生活支援を行なっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族様の精神的負担を少しでも軽減出来る様に、不安に思っておられる事や心配に感じておられる事に耳を傾け、気持ちに寄りそう様努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご家族様と情報を共有しながら、馴染みの人や場所への支援をお願いし、出来る範囲で協力をしている。</p>	<p>知人・親戚など気軽に面会出来るよう配慮し、利用者全員にとって新たな馴染みの人になる事もある。家族の協力の下、墓参りや見慣れた景色を満喫できるドライブを提案したり、馴染みの公園での紅葉狩りなど外出行事をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う人との席の配慮をしたり、状況に応じて席替えを行ったり、職員が間に入る等し、皆が楽しく過ごせるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	相談や近況報告等、一部の方ではあるがメールにてやり取りをしている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様の人権を尊重し、その人らしく生活して頂けるよう配慮している。	日頃から「食べたい物、飲みたい物、行きたい所」など本人の要望を引き出し、タブレットにケース記録として入力して職員間で迅速な情報共有を図っている。利用者の思いに添い、どうすれば実現できるか、職員間で検討を重ねている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様から、生活歴をしっかりと聞きだし、時に、利用していた事業所等からの情報収集も行いながら、本人様自身を知る努力をするようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	毎日朝・夕の申し送りや、職員間でのノートでの情報共有を行い、一人一人の状況が常に把握出来るよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	本人様の現状を把握し、家族、職員、多職種との連携も取りながら、その人らしい介護計画を作成している。	利用者ごとに職員の担当制を採り、収集された情報とケアマネジャーのアセスメントの後、関係者の意見を集約しながら計画を作成している。定期的にモニタリングを行い、利用者や家族の要望や医療情報を加味して状態に即したケアプラン作成を継続している。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	根拠のある介護を実践して行く為に、生活行動記録には、些細な事も情報を入力している。	/	
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	他の職員や他職種との連携をとり、様々な方面からアプローチを行なっている。	/	
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	地域での行事の参加や手伝い等、出来る範囲でおこなっており、行事等は利用者の楽しみにもつながっている。	/	
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	主治医や看護師と常に連絡出来る状況であり、常に相談、報告を行なっている。	本人・家族の希望を受けて、協力医の月2回の往診と急変時の随時往診が行われている。専門科への受診時は、家族が同伴し、日常生活を記述した事業所独自の書類を持参して貰っている。受診結果と看護師や薬剤師からの情報は、個別に医療連携ノートに記載し共有している。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	利用者様の些細な変化も看護師に報告、相談を行なっている。	/	
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリーを持参し情報提供を行っている。退院時はカンファレンスを行いADLの変化や食事形態の変化の情報の共有を行っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですること十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	チームで支援していく為に、ご家族様の思いに寄り添いながら、本人様が望む最期を常にチームで情報共有しながら取り組んでいる。	入居契約時に重度化・終末期の指針を書類を交わして説明している。本人・家族の要望で看取りをしており、家族・医療関係者とのチームカンファレンスにて方向性と具体的ケアを話し合っている。個々で異なる終末期ケアに関しても研修を重ね、柔軟に対応している。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	カンファレンスの時や各職員がマニュアルを常に頭に入れておくよう働きかけを行なっている。	/	
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	ハザードマップや避難訓練等で再確認をしている。		

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊敬の念を持ち、その人らしい生活が送れるよう言葉使いやケアに対しても十分に配慮している。	事業所理念にもある、ひとり一人の人格を尊重したケアの重要性は、入社時や社内研修において指導され、職員の意識は高い。「自分の親だったらどんな気持ちになるか」など、自己チェックや同僚と話し合いを通じて、プライバシーを傷つけないよう全職員で徹底させている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	食べたい物、したい事を出来るだけ聞きだし、思いに添えるよう援助出来るよう努力している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	出来るだけ一人ひとりのペースを大切にしよう心掛けてはいるが、難しい状況の時もある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	お化粧品や髭そり、整容が出来る様毎日支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	行事食の時等、それぞれが出来る事、カット、味付け、盛り付け等一緒に行なっている。日常では、食洗やお盆ふき、テーブル拭き等行なってもらっている。	昼・夕食はランチセンター、朝食は法人の配食サービスにて、食べやすく温かい食事を提供している。利用者も盛り付け配膳などに加わり、週1回の「リクエスト手作り調理」では、オムライスやお好み焼き作り等で食欲をそっている。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	栄養士の指示のもと、食事提供し、夜間の水分補給等も行なっている。	/	
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	歯科医の指導のもと適切に行なっている。	/	
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	日中はリハビリパンツから布パンツへ更新したり、排泄の声掛けや職員見守りにて、出来る限り自力にて行なえるよう支援している。	プライバシーを損なわないように介助する事を大切にしている。移動しやすいように手すりが設置され、清潔に保たれたトイレの内部、壁にもほっこりする絵と標語が掲示されている。トイレの排泄を基本としており、入居後、布パンツに改善した好事例が多い。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	水分量や牛乳等摂取して頂き、排便コントロールを主治医の指示にて行なっている。	/	
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	曜日や時間帯に応じる事が出来ないように思うが、本人様が着たい洋服や準備等、職員と一緒にこなうようにしている。また、入浴剤に家族様手作りのバスソルトを使用している。	職員の発案により、その日の入浴予定者名をテレビの近くに掲示し、利用者の心づもりに繋がり、待ち遠しい入浴となっている。手作りの芳香でリラックス効果のあるバスソルトが好評で、職員は急がせない雰囲気配慮しながら柔軟に週2回の入浴を支援している。	

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	居室の明るさやアロマを使用し、 リラックスして頂ける環境整備を 行なっている。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	看護師指示のもと支援をしてい るが、薬の目的や副作用等につ いては、各自が十分な理解が 出来ていない所がある。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	歌や体操、おやつ作りを毎日 出来る様支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や 地域の人々と協力しながら出 かけられるように支援してい る。</p>	春には花見や散歩に出かけたり している。また、近所のスーパー にも歩いて利用者様と時々行 っている。	その日の天候に配慮しながら 散歩や近くのスーパーに出か けている。春には川土手の土筆 を楽しんだり、季節に応じて、 花見・紅葉狩り・初詣などの 外出事も組まれている。ドライ ブには、家族の支援協力もあり、 和やかな外出支援の情景が見 られる。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	一部の方ではあるが、財布を持 っている事で安心される方は、 財布を持ち一緒に金銭の確認 をしている。ある方は、職員 一部管理のもと、自販機でジ ュースを買える様支援してい る。		

自己評価	外部評価	項目( 1ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	訴えがあれば家族様へ電話している。	/	
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	季節に応じた飾り付けや壁に行事での写真の展示を行なっている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	廊下に椅子をおいたり、リビング内にテレビ2か所設置しており、どこからでも視聴出来る様にしている。	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	本人様が使用されていた馴染みのある物（家具・置物・写真等）使用して頂いている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	共同トイレの場所やリビング等が分かりやすい様に大きく案内が貼ってある。居室入口には、ご自身の部屋だと認識出来る様、顔写真を飾ったりしている。	/	

V アウトカム項目(                    1ユニット                    ) ← 左記(                    )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	③たまに
			④ほとんどない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	③あまり増えていない
			④全くいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
70	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
71	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
72	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
73	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目（2ユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。</p>	事業所理念を各ユニットで共有し意見交換を行い実践につなげている。		
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。</p>	運営推進会議を2カ月に1回実施しながら地域への情報発信を行っている。8月には夏祭りを開催予定している。また、町内会の亥の子祭りにも参加予定とし、地域との交流を行っている。		
3		<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。</p>	運営推進会議にて「認知症」の講座を担当医から行っていただき、理解や支援につなげている。また、自社で作成しているニックス「ふれあい通信」を発行し情報を伝えている。		
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	2カ月に1度開催し、施設としての取り組みや行事予定、事故報告等の公表を行い事故防止に努めている。利用者様や家族様の意見を聞きサービスの向上を図る。		
5	4	<p>○市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	運営推進会議への参加の呼びかけを行ったり、現場での対応等について相談し連携を行っている。		

自己評価	外部評価	項目（2ユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用者様がその人らしく生活していただけよう尊厳を考えケアを行うように心掛けている。施設内の研修や勉強会を行い、周知徹底を図る。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	社内研修に参加したり、施設内研修を行い不適切な事例を取り上げ全体会議で意見を出し合い、虐待防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	利用者様の生活の質の向上を目指し、研修等を通じて権利擁護についての知識と理解を深める努力をしている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に内容の説明後、必ず疑問等の質問が無いか確認を取っている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	年6回家族会を開催して、意見や要望を出していただいている。面会時にも意見をお聞きする機会を設けている。可能な限り要望に応じられるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目（2ユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>年2回個人面談の機会を設けている。毎月の会議でも職員が意見を言える場が設けている。意見箱を設置しており、事業主に直接意見が届くようになっている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員個々において半年に1回個人評価シートを作成し、目標の設定、達成度、評価を元に就業状態把握を行っている。管理者も日常的に事業主と報告・相談を密に行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>社内研修、社外研修の案内を受け、その都度職員に提示している。資格取得の講座も自社で開講しており案内がある。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>現在、外部の同業者との交流は行っていないが、法人内の事業所間で情報共有やサービスに関する意見交換などを行っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者様の情報を職員間で共有し声掛けや傾聴を心がけ良好な関係が保てるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目（ 2ユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>声掛けを基に話しやすい環境を作り希望や意見には耳を傾けるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>利用者様とご家族様のニーズに耳を傾け必要な事を見いだせるような良好な関係を築けるよう心がける。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>共同生活の場であることもしっかり納得していただきながら、良好な関係を築ける様に心がける。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時に生活状況を報告したり意見や要望を確認する事で良好関係を築けるよう努力している。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>自宅訪問という時間がなかなか取れない方には話題作りをする。親戚やご友人が気軽に面会できるような場を提供する。</p>		

自己評価	外部評価	項目（2ユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	利用者同士の関係を職員が観察し、孤立しないように定期的に席替えを試みたり、中立の立場でお関わりを行っている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	現時点では、退去後に相談や支援は行っていない。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日々の会話の中で、ご本人の思いや意向を聞いて職員間で話し合い、思いに添えるよう努めている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	本人や家族様より情報提供を頂いている。本人様との会話からも情報の把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	生活記録をタブレットで管理している。職員間の情報共有の為スタッフノートでの申し送りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目（2ユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	職員の申し送り等の情報交換等で様々な意見を反映しケアマネージャーを中心にケアプランを作成している。		
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	記録は基本タブレットで行っているが手書きの申し送り表を別に作成しすぐに情報の共有が出来るよう工夫している。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	本人の希望や家族の意向に耳を傾け出来る事は対応すよう取り組んでいる。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	支援学級の職場体験や、ボランティアの方を通じて地域の方々とのつながりを大事にする。外食レクでは近所の飲食店を利用する。		
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	契約の同意を得て内科・訪問歯科は協力医に往診をしてもらっている。その他、専門科の受診はご家族様が付き添って受診される。必ず協力医への情報提供は行っている。		

自己評価	外部評価	項目（2ユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	健康管理については、看護職と、介護職が連携し看護職が助言・指示を行っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時はサマリを持参し情報提供を行っている。退院時はカンファレンスを行いADLの変化や食事形態の変化の情報の共有を行う。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に「重度化した場合の指針」を提示し、内容説明後ご家族様より同意を得ている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急対応マニュアルを作成し目の付くところに掲示している。事前に連絡方法等、対応に対する注意を行い、周知している。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	防火防災訓練年1回以上実施している。		

自己評価	外部評価	項目 ( 2ユニット )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の尊厳は配慮しながら対応するよう努めている。声掛け等、配慮に欠ける時もある為、その都度、指導や研修にて改善するよう働きかけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	意思表示や自己決定が出来るよう訴えを傾聴するように日々心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	業務優先となる事もあるが出来る限り希望に添える様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	洋服の選択は出来る限りご本人に行なって頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る事は手伝ってもらっている。盛り付けや、お盆ふき等		

自己評価	外部評価	項目（ 2ユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>一日に必要な水分量を理解した上で、定期的な水分摂取を行う。食事については、個々の状態に応じた食事支援を行っている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは毎食後行なっている。訪問歯科サービスも往診し、口腔状態には気をつけている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し定期的なリハビリ誘導を行う。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便記録を基に管理し、適度な運動を取り入れたり、乳製品の飲み物を提供し、便秘予防に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>スケジュールを組み、週2回の入浴を実施しているが、個々に応じた入浴は行えていない。家族様との外出などや体調不良時は希望により柔軟に対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目（ 2ユニット ）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	利用者様の希望に沿えるように対応している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	看護職が個々のカルテに薬剤情報提供書をファイルし、いつでも確認できるようにしている。変更等については、口頭・申し送りノート等で職員全員がわかるようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	気分転換を兼ねて、デリバリーを頼んだり、近所の飲食店に外食に行ったり、季節を感じるような行事食をつくったりおやつレクを行っている。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	日常的な外出支援は行えていない。		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	一部の方のみ所持されており、残りの方は預っている。		

自己評価	外部評価	項目（2ユニット）	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の（ ）内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば対応できるように努めている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節に合わせた掲示物や、入居者様の行事の写真などを廊下に展示している。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>共用空間の間取りの問題でソファ等が置けず、一人での空間、心地よい環境が作れていない。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>使い慣れた家具を持ち込んでいただき少しでも安心安全に使用していただけるよう考えている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>完全バリアフリーで、手すりも廊下と部屋中に備わっているため、環境整備をしっかりとし、危険な物を除く配慮をしている。</p>		

V アウトカム項目( 2ユニット ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホーム桃太郎

作成日 2019.10.20

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域資源の活用がやや不十分である。	地域密着サービスの意義を踏まえ、理念の共有と実践を行なう。	地域密着型サービスの特色を活かし地域包括からの情報や助言を活かし実践に向けて動いていく。	1年
2	3	認知症の人の理解や支援の方法を地域の人々に活かしてきていない。	家族会や行事等を通じ利用者様、家族同士の交流はもちろん近隣の方との関わりも多く持てるようにする。	職員自身が支援方法をさらに勉強し、いつでもどんな相談でも気軽に出来るような関係性を作っていく。	1年
3	2	地元住民やボランティア、町内会の催し物への参加が少ない。	町内会への行事や催し物、ボランティアと関わる機会を多く持つ。	町内会からの行事の誘いや回覧版等からの情報を得てなるべく参加し地域の方との挨拶を普段から積極的に行なう。ボランティアは市・町に出向いたり家族等から協力が得られないか相談していく。	1年
4	35	近隣との防災協力体制までは出来ていない。	運営推進会議等で常に発信していく事はもちろん、回覧版での情報共有を持ってもらう。	ハザートマップや避難訓練等で再認識し、近隣の方への協力、参加を積極的に行なう。	1年
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。